

30日 土曜

へブル



13:18 私たちのために祈ってください。私たちは正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動したいと思っているからです。

13:19 私があなたがたのもとに早く戻れるように、なおいっそう祈ってくださるよう、お願いします。

13:20 永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを、死者の中から導き出された平和の神が、

13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを整え、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

13:22 兄弟たちよ、あなたがたにお願いします。このような勧めのことばを耐え忍んでください。私は手短かに書いたのです。

13:23 私たちの兄弟テモテが釈放されたことを、お知らせします。もし彼が早く来れば、私は彼と一緒にあなたがたに会えるでしょう。

13:24 あなたがたのすべての指導者たち、また、すべての聖徒たちによろしく。イタリアから来た人たちが、あなたがたによろしくとっています。

13:25 恵みがあなたがたすべてとともにありますように。

祈ってもらうことは大きな力です。著者は神の使命を全うしたいので祈ってもらいたいのです。また神の力がなければ全うできないという謙遜な思いがあるからです。そしてともに主にある兄弟姉妹には

祈りの力があるという信頼があるからです。よく互いに祈りあいましょうと言いますが、祈りにはそのように色々な信仰が表れているのです。祈り合いましょう。すなわち祈りを願ひし、また積極的に祈ってあげましょう。

著者は神である主のことを、「永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを死者の中から導き出された平和の神」と表現しています。神様のすばらしさをいつもイメージしながら祈り、生活することは信仰の力になります。

テモテの釈放について報告しています。それはみな喜びとなったことでしょう。主のために生き、互いに励ましあい、その苦労を分かち合うことができる人間関係ほど幸いなものはありません。それがクリスチャンの本当の交わりです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

